

公道を使用するイベントに係る交通量調査業務委託仕様書

1 目的

令和8年に開催予定の公道を使用するイベントについて、安全に開催し、周辺交通への影響を最小限に抑えるため、交通実態に基づいた交通規制計画作成・広域迂回路設定が必要であり、その基礎データとなるコース周辺の交通量調査を行うもの。

2 業務概要

- (1) 業務計画書の作成
- (2) 調査箇所の選定
- (3) 調査準備業務
- (4) 交通量調査の実施
- (5) 報告書の作成

3 業務内容

(1) 業務計画書の作成

業務の目的・主旨を把握したうえで、委託者との打合せのもと、業務内容の確認・現地調査を行い、業務計画書を作成、提出すること。

(2) 調査箇所の選定

委託者より示される資料を基に、交通規制計画作成・広域迂回路設定に必要となる調査箇所を抽出すること。使用する公道は、福岡市およびその近郊にて70km程度とする。

(3) 調査準備業務

人員募集・教育、機材準備、調査地点の選定、道路使用許可作成・申請等調査に係る準備全般を行うこと。

(4) 交通量調査の実施

対象箇所の自動車交通量調査を実施する。調査実施内容は以下に示す通りとする。

- | | | | |
|---|------|--|----------------|
| ① | 調査時期 | 令和8年2月21日(土) | ※全箇所を1日で実施すること |
| ② | 調査場所 | 福岡市およびその近郊 | |
| ③ | 調査時間 | 9時00分～15時00分の6時間調査 | |
| ④ | 対象箇所 | エリア内の主要交差点 | |
| ⑤ | 調査内容 | 交差点方向別の交通量を観測(10分単位で観測) | |
| ⑥ | 観測手法 | 人手または動画撮影による観測
(動画撮影の場合、机上で人手計測とする) | |
| ⑦ | 車種分類 | 2区分(小型車・大型車) | |

(5) 報告書の作成

調査結果を的確に整理・分析し、交通対策の検討に活用できる資料を作成し、提出すること。

4 成果品

3（5）にて示した報告書については、次の形式により納品すること。

（1）納品媒体、数量：紙媒体 3 部

（2）電子データ：電子データ（CD-R 又は DVD-R）1 部

Windows で表示可能な形式（PDF、WORD、Excel、PowerPoint 等）とする。その他のソフトウェアを使用する場合は、発注者と別途協議すること。

5 成果品に対する責任の範囲

受託者は、本委託終了後といえども、成果品に瑕疵が発見された場合は、速やかに委託者と協議の上、成果品の訂正をしなければならない。

なお、これに対する費用は、受託者の負担とする。

6 帰属

- （1）受託者は本委託業務に係る成果品の全ての著作権（著作権法（昭和 45 年法律第 48 号第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む。）を委託者に無償で譲渡するものとする。
- （2）受託者は、本委託業務の実施に伴い新たに作成したものについて、著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 2 章第 3 節第 2 款に規定する権利（以下「著作者人格権」という。）を有する場合においてもこれを行使しないものとする。ただし、あらかじめ委託者の承諾を得た場合はこの限りでない。
- （3）（2）の規定は、受託者の従業員、仕様書 8 の規定により再委託された場合の再委託先又はそれらの従業員に著作者人格権が帰属する場合にも適用する。
- （4）（2）及び（3）の規定については、委託者が必要と判断する限りにおいて、この契約終了後も継続する。
- （5）本委託業務に係る成果品に使用又は包括されている著作物で受託者がこの契約締結以前から有していたか、又は受託者が本委託業務以外の目的で作成した汎用性のある著作物に関する著作権は、受託者に留保され、その使用权、改変権を委託者に許諾するものとし、委託者は、これを本委託業務の納入物の運用その他の利用のために必要な範囲で使用、改変できるものとする。また、納入物に使用又は包括されている著作物で第三者が著作権を有する著作物の著作権は、当該第三者に留保され、かかる著作物に使用許諾条件が定められている場合は、委託者はその条件の適用につき協議に応ずるものとする。
- （6）本委託業務の実施に伴い、特許権等の産業財産権を伴う発明等が行われた場合、取扱い は別途協議の上定める。
- （7）納入物に関し、第三者から著作権、特許権、その他知的財産権の侵害の申立てを受けた場合、委託者の帰責事由による場合を除き、受託者の責任と費用をもって処理するものとする。
- （8）受託者は、本委託終了後も含め、業務の成果等を委託者の承認を受けないで、自ら使用したり、他の者に公表、貸与及び使用させてはならない。
- （9）電子データは、完成後に委託者又は委託者が許可した他の団体のホームページに掲載する場合がある。

7 支払方法

契約代金は、委託業務の履行完了確認後、受託者からの請求に基づき委託料を支払う。

8 再委託の取扱い

- (1) 受託者は、委託業務の全部又は主要な部分を一括して第三者に委託してはならない。ただし、あらかじめ書面により委託者の承認を得たときにはこの限りではない。
- (2) この仕様書に定める事項については、受託者と同様に、再委託先においても遵守するものとし、受託者は、再委託先がこれを遵守することに関して、一切の責任を負う。

9 個人情報の取扱い

業務を通じて取得した個人情報の保護及び秘密の保持を遵守すること。また、受託者が取り扱う個人情報については、福岡県個人情報保護条例の適用を受けるものとする。

10 その他

本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に関し疑義が生じたときは、その都度協議の上、定めるものとする。